

# 平成28年度事業報告

## 全体概要

平成28年度の研究助成事業については、国内研究助成(40件)、海外研究助成(8件)、国際会議、海外渡航および成果普及活動の援助、成果報告論文の刊行、助成金贈呈式、研究成果発表会の開催を実施した。

平成29年度研究助成を募集し、選考委員会により40件の研究助成を採択した。

財政については、主に不動産投資信託の分配金増により事業活動収入は予算を上回った。

## 1. 事業内容

### 1) 研究助成事業

#### (1) 国内研究助成

前年度に募集・選考した40件の平成28年度(第38回)助成対象研究につき、贈呈式を平成28年4月21日に開催し、研究助成金の贈呈を行った。研究助成金総額は41.9百万円とした。継続候補テーマは0件であった。

第39回研究助成事業については、平成28年8月～11月の募集期間で165件の応募を得た。応募の研究機関数は76機関(前年度79)であった。

経済情勢を見込み、平成29年度は前年度並みの40件を採択した。助成金額総計は、前年度よりやや多い、42.5百万円とした。

2件の継続候補テーマが選定された。

#### (2) 海外研究助成

助成対象大学・機関は、マレーシアの3大学(マレーシア技術大学、サインスマレーシア大学、マラヤ大学)・ベトナムの4大学・機関(ベトナム国立大学ハノイ、ハノイ工科大学、ベトナム国立大学ホーチミンシティ、ベトナム科学技術アカデミー)・ブラジルの3大学・機関(サオカルロス大学、アエロノーティカ研究所、サオポール大学)の、10大学・機関とした。

応募総数69件(マレーシア67、ベトナム2、ブラジル0)から8件(マレーシア8、ベトナム0)を採択し、総額37.5千ドルを贈呈した。今年度は応募を電子ファイルで受け付けたことが敷居を下げたためか、応募件数が大幅に増加したが、これはマレーシアのみのことであった。

#### 2) 国際会議等の助成事業

国際会議助成については10件1.1百万円を、海外渡航助成については4名0.4百万円を、成果普及助成については7件0.7百万円の助成を、それぞれ行った。

なお、海外渡航助成は平成29年4月1日をもって廃止し、成果普及助成の中で助成者に対して海外渡航を助成する形に集約することとなった。

#### 3) 成果普及事業

平成25年度助成研究の成果をまとめ、第34号成果報告書を刊行し、全国主要大学やその図書館等に寄贈した。また、40件の成果報告の中から5名を講師として選び、「第34回無機材料に関する最近の研究成果発表会」を平成29年1月26日東京で開催した。更に、寄付会社を中心に研究成果の紹介活動を行った。

## 2 財政基盤

### 1) 収支決算

(1) 収入について、寄附金収入(予算35.5百万)は法人26社、個人12名より計35.7百万円(前年度35.2百万)であった。

運用収入は、主に不動産投資信託の分配金増により、44.5百万円と予算を2.2百万円上回った。この結果、事業活動収入合計は、予算77.7百万円に対し、80.2百万円となった。

(2) 事業活動支出については、事業費が予算64.2百万円に対し65.1百万円、管理費が予算10.8百万円に対し10.8百万円となった。事業費支出については事業活動収入の増加を見ながら、公益財団として、国内研究助成や海外研究助成などを増額したことによる。

(3) この結果、事業活動支出合計は、予算75.0百万円に対し、75.8百万円となった。

- (4) 投資活動収入は57.2百万円、投資活動支出は62.6百万円となった。投資活動の主な内容は、国債の売却とその再投資である。
- (5) 以上の結果、収支計算書における次期繰越収支差額は19.4百万円(予算15.1百万円)となった。

## 2) 資産及び正味財産

- (1) 総資産は、時価評価で総額1,163.9百万円、うち基本財産893.8百万円、特定資産250.6百万円であった。また、正味財産は、指定正味財産40.4百万円、一般正味財産1,120.6百万円で、当期の正味財産合計の減少額は-44.8百万円であった。資産減少額は、投資有価証券の時価評価損による。
- (2) 「無機材料研究助成基金(個人寄付基金)」制度に基づく個人寄付は、過去からの累計で、総額769万円、59人となった。

## 3 その他

### 1) 役員等の異動

#### (1) 選考委員

今年度は変更なく、牧島委員長以下、藤島委員、松波委員、神谷委員、安田委員、平尾委員、細野委員、後藤委員が留任である。

#### (2) 評議員、理事、監事(2016.6.6付)

- ・評議員就任 森 重樹氏
- ・監事辞任 山岸隆司氏
- ・監事就任 船木正昭氏
- ・顧問辞任 船木正昭氏

### 2) 平成28年度の理事会は、下記の通り開催した。

- 平成28年 5月19日：主に平成27年度事業・決算報告。研究助成選考方針、監事改選など  
平成28年 6月20日(理事会の決議の省略による書面決議)：第150期日本板硝子株式会社  
定時株主総会における議決権行使  
平成28年11月25日：海外渡航助成廃止、基本財産の運用(国債の中途売却と再投資)、  
職務執行報告など  
平成29年 3月13日：主に平成29年度事業計画審議  
平成29年 3月17日(理事会の決議の省略による書面決議)：日本板硝子株式会社  
臨時株主総会(平成29年3月24日)における議決権行使

### 3) 平成28年度の評議員会は、下記の通り開催した。

平成28年 6月 6日：H27年度事業報告・決算の承認。評議員選任、監事改選の承認。

### 4) 平成28年度の選考委員会は、下記の通り開催した。

- 平成28年 5月11日：平成29年度募集要項と選考方針の審議  
平成28年12月16日：研究助成案件選考分担決定、海外研究助成案件審議  
平成29年 3月 3日：平成29年度研究助成案件審議および採択